

機械器具 22 検眼用器具  
一般医療機器 両眼視機能検査装置 (JMDN コード 37071000)

## ラングステレオテスト

### 【形状・構造及び原理等】

下記に外観図を示す。

ラングステレオテスト I、II



\*\* ラングステレオテスト I-R、II-R

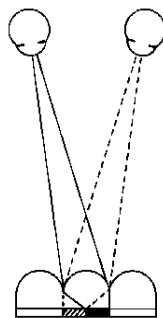


### ＜構成＞

検査プレート、収納ケースで構成されている。

### ＜原理＞

本品は偏光メガネ(左右眼分離鏡)を併用しないかわりに、印刷面に円柱回析縞子(かまぼこ型レンズ)を貼り図の通り左右眼の見える範囲が分けられることを利用し両眼を分離している Hess のレンズスクリーンと、Julesz のランダムドットパターンを組み合わせたパノグラフィーである。単眼では図形(視標)を視認することができず、両眼で見ることにより図形(視標)が立体的(浮き上がり)に見える。



### ＜仕様＞

視差 (検査距離40cm)

ラングステレオテスト I

猫 1200"

星 600"

車 550"

ラングステレオテスト II

象 600"

車 400"

星・月 200"

\*\* ラングステレオテスト I-R

猫 1200"

星 600"

車 400"

ラングステレオテスト II-R

象 600"

車 400"

星・月 200"

### 【使用目的又は効果】

立体視機能の検査

### 【使用方法等】

- (1) 屈折異常がある場合は矯正する。光が直接検査プレートに当たらないようにする。検査プレートは必ず検者が持ち、両端をやや内側に曲げるようにして被検者の眼前 40 cm の位置に提示する。この時、被検者の視線と検査プレートが直角になるようにする。被検者が頭を左右に振らないように注意する。
- (2) 次に①「何か見えますか」②「何が見えますか」そして③「どれが一番浮き出ていますか」等を順に被検者の年齢、知能にあわせて尋ねる。特に被検者が低年齢の場合には質問の仕方が重要なポイントとなるが、被検者自身の指で図形をつかませることにより、言葉が十分に表現できない子供にも検査が可能となる。また、付属の単体の絵図を使用するのも有効である。
- (3) 最後に検査プレートを逆にして図形の位置が逆さまになること、また、検査プレートを 90° 回転させ、視差がなくなるため図形が消えることを確認する。
- (4) 判定  
判別した図形に応じた視差となる。

### 【使用上の注意】

#### ＜重要な基本的注意＞

- (1) 本品の使用者は、医師及び医師の指示を受けた人、視能訓練士だけに限定すること。
- (2) 検査プレートの表面に傷がついていたり検査プレートが変形したりしていると、立体視検査に支障をきたすので取扱いや保管には注意し、このような異常がある場合は、使用しないこと。
- \* (3) 検査距離は 30cm～40cm を保つこと。

### 【保管方法及び有効期間等】

常温に保管すること。但し、40℃以上の高温、5℃以下の低温及び 70%以上の湿度は避ける。

取扱説明書を必ずご参照ください。

退色を防ぐため、検査プレートに不必要な光が当たらないように保管すること。上に物をのせたりしない。熱、特に日光により変形するので注意する。

**【保守・点検に係る事項】**

よごれた場合は、柔らかい布で軽くはらうこと。  
洗浄用の液体や溶剤は決して使用しないこと。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

**製造販売業者**

ジャパン フォーカス株式会社  
〒113-0033 東京都文京区本郷 4-37-18  
TEL (03)3815-2611

**外国製造業者**

LANG-STEREOTEST AG      スイス

**緊急連絡先**

ジャパンフォーカス株式会社    TEL    (03)3815-2611  
株式会社 JFC セールスプラン    TEL    (03)5684-8531